

IV. 業績の見通し

通期の業績見通しにつきまして、売上高、営業損益、経常損益、当期純損益は、電灯・電力収入が想定できないことから、これまで未定としておりましたが、10月15日に経済産業大臣から電気料金値上げの認可をいただいたことを踏まえ、業績予想を算定しましたのでお知らせいたします。

また、販売電力量は至近の動向を反映し、26年7月に公表した見通しを修正しております。

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、前期に比べ、収入面では、電気料金の値上げや再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響などにより、売上高は増収となる見通しであります。

支出面では、水力発電量の減少による燃料費の増加はありますが、修繕工事や諸経費の繰り延べなどのコスト削減等に努めることにより、経常損益は損失幅が縮小する見通しであります。

この結果、売上高は7,090億円程度、営業損益は80億円程度の損失、経常損益は220億円程度の損失、当期純損益は、濁水準備引当金を取り崩したことなどにより、30億円程度の損失となる見通しであります。

期末配当につきましては、普通株式および優先株式ともに、今後の収支状況を見極める必要があることから、未定とさせていただきます。

○ 連結業績見通し

27年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	709,000	—	79,000
営業損益	△ 8,000	—	72,000
経常損益	△ 22,000	—	73,000
当期純損益	△ 3,000	—	60,000
(対前期増減率)	(0.5%程度)		
販売電力量	308億kWh程度	△6億kWh程度	2億kWh程度

(注) 営業損益、経常損益、当期純損益欄の△は、損失を示しております。

○ 単独業績見通し

27年3月期単独業績予想

(単位：百万円)

	通	期	
		対前回増減	対前期増減
売上高	684,000	—	79,000
営業損益	△ 5,000	—	79,000
経常損益	△ 18,000	—	80,000
当期純損益	1,000	—	65,000

(注) 営業損益、経常損益欄の△は、損失を示しております。

※対前回増減は、平成26年7月31日に公表した業績予想との差を記載しております。

※通期の為替レートは107円/\$程度(10月以降110円/\$程度)、原油CIF価格は105\$/b1程度(10月以降100\$/b1程度)として想定しております。